

科目名	音楽ビジネススキル2							年度	2026
英語科目名	Music business skills 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	市川 恵子		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ライブイベント制作			

【科目の目的】

最新のニュースや映像、ビジネスに必要な収入と支出そしてリクープの概念、エンタテインメント業界の歴史と進化を通じて、学生たちが多様な文化や新たなエンタテインメントの創造に理解を深め、今後のイベントメディア制作のみならず新たな視点とビジネスに対する全体的・総合的な意識を養う。

【科目の概要】

『イベントメディア業界研究2』は、イベントにおける収入と支出、様々な時時エンタメニュースの紹介・分析、音楽業界の多様な歴史、著作権を網羅し、学生たちが総合的に未来のエンタメを創造するための知識やスキルを身につける。最近新たな課題となりつつあるAIも含め、イベントとメディアの連携を通じて総合的な理解を促進させる。

【到達目標】

- A. 収支を考えたビジネス的視点を養う - 常に収支を考慮する習慣を身につける。
- B. 著作権を始めとする権利意識の向上 - 今後さらに重要になる権利意識を身につける。
- C. 総合的な思考力の発展 - 音楽業界の歴史や現状の最新ニュースからトータルで思考することを身につける。

【授業の注意点】

授業時限数の4分の3以上出席しない学生は、定期試験を受験する事ができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	イベントをはじめとしてエンタテインメントビジネスの収支について理解をしている。		エンタテインメントビジネスの収支について一部理解している。		エンタテインメントビジネスの収支についてほとんど理解していない。
到達目標 B	著作権をはじめとした権利について自ら説明できる程度に理解する能力を有している。	著作権をはじめとした権利について自ら理解する能力を有している。	著作権をはじめとした権利について一部理解する能力を有している。	著作権をはじめとした権利について少しだけ理解する能力を有している。	著作権をはじめとした権利についてほとんど理解していない。
到達目標 C	得た知識を用いてトータルで物事を考えられる。		物事をトータル考える事が多少できている。		物事をトータルに考えることができていない。
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】

適時プリントを配布する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

期末試験、授業内課題

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		音楽ビジネススキル2			年度	2026
英語表記		Music business skills 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	前期試験解答と著作権さわり(著作物)	これから学ぶ著作権について考えるきっかけを作る	1 前期試験解説	前期試験の解説を通じ、各自の問題点を理解する。	3	
			2 著作物	著作物とは何かを理解する		
2	著作物応用編	二次的著作物等著作物の応用について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 二次的著作物	二次的著作物について理解できる。		
			3 編集著作物	編集著作物を説明できる。		
3	著作者	著作者について理解する	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 著作者	著作者の定義を理解できる。。		
4	音楽産業の歴史と発展1	テクノロジーの概念から音楽業界の歴史・発展について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 音楽業界の歴史・発展	テクノロジーの概念での音楽業界の歴史・発展について理解する		
			3 印税の種類	印税の様々な種類を理解する。		
5	音楽産業の歴史と発展2	ビジネスの概念から音楽業界の歴史・発展について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 音楽業界の歴史・発展	ビジネスの概念から音楽業界の歴史・発展について理解する		
6	著作者の権利1	著作者の権利について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 著作者人格権	著作者人格権について理解する。		
			3 (財産権としての) 著作権1	複製権をはじめとする財産権としての著作権について理解し説明できる。		
7	著作者の権利2	著作者の権利について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 (財産権としての) 著作権2	二次的著作物に関する権利をはじめとする財産権としての著作権について理解し説明できる。		
8	コンサート業界の歴史1	国内のコンサート業界の歴史について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 国内のコンサート業界の歴史	江戸時代から現代に至るまでの国内コンサートの歴史を理解する。		
			3 ライブハウスの歴史	ライブハウスの起源から現在に至るまでの経緯を理解する。		
9	契約	契約の概念を李化する	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 契約	どうしたら契約が成立するかを理解する。		
10	著作権の例外	著作権の例外について理解する	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 著作権の例外	私的使用、教育、引用等の例外的に著作物を無断利用できる種類を学び理解する。		
11	コンサート業界の歴史2	欧米のコンサート業界の歴史について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 欧米のコンサート業界の歴史	19世紀から現代に至るまでの欧米コンサートの歴史を理解する。		
			3 欧米の主要フェス	欧米の主要フェスを知る。		
12	著作権の保護期間	著作権の保護期間について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 著作権の保護期間	著作権は永遠では無く保護期間があることを知り、その意味を理解する。		
13	著作隣接権	著作隣接権について	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 著作隣接権	著作隣接権の意味と種類を理解する。		
14	著作権侵害と各種契約書	著作権侵害と各種契約書について学ぶ	1 最新記事	エンタメの最新事情を理解する。	3	
			2 著作権侵害	著作権侵害の種類と刑罰について理解する		
			3 各種契約書	著作権契約、原盤契約等各種の契約書に目を通す。		
15	まとめ	これまでの講義の要点を確認し自らの考えを述べられるようになる。	1 著作権について	著作権をトータルで理解できる。	3	
			2 音楽業界・コンサート業界の歴史	音楽業界・コンサート業界の歴史的背景を含めて理解できる。		
			3 トータルで思考することを身につける。	イベント企画を経てトータルで思考することができる。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等